



2024-2025 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：森田 拓巳 ● 副会長：豊島 和敏、高木 壽一 ● 幹事：武藤 香苗
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotary@peach.plala.or.jp

第 2977 回例会 2025 年 3 月 5 日(水) 発行:会報・広報・雑誌委員会

点鐘：森田 拓巳 会長

司会：田中 啓二 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～森田 会長

- ・斜里中学校 校長 坂田 直繁 氏

2. ローターソング ～国歌斉唱、奉仕の理想

3. 会長の時間 ～森田 会長

3月はロータリーの「水と衛生月間」です。国連においても3月22日を「世界水の日」と定め、安全な水と衛生設備の提供の普及と啓発に努めています。開発途上国において、安全な水の提供、トイレなど衛生設備の設置、および手洗いなどの衛生習慣の普及による効果は、安全な水・衛生設備が整備されていないと、人は病気にかかりやすくなり、遠くまで水を汲みに行く子供たちは、学校に行く時間がなかったり、身体を壊して学校に行けなくなる。そのため、子供たちは教育の機会を奪われる。安全な水・衛生設備が整備されていないと、緊張が高まり、住所を離れ移動する人々が増える。紛争が長引いている地域では、暴力で命を落とすより、不潔な水や衛生設備に関連する下痢性疾患で亡くなる子供の方が20倍も多いそうです。

また、気候変動や都市化、人口増加により、水資源をめぐる争いは激化する一方で、2030年までには、世界の人口の半分が水不足の状況で暮らすことになることも予想されています。数値データとしましては、安全な飲み水を手に入れることが出来ない人は世界で20億人、水の脆弱性が高い、または非常に高い地域で暮らしている人は、4億5,000万人の子供を含む14億2,000万人が、非衛生的な水と衛生に起因する疾病で命を落とす5歳未満児は世界で一日あたり1,000人にも上るそうです。

ロータリーでも、人道的支援に該当し、援助するクラブと現地の人と相互協力などの条件で実施されるグローバル補助金の利用実施例に水の関係事業が多いと思います。

財団への資金協力は、支援事業の成功につながりますので、皆さまにはロータリー財団の事業にご理解いただきたいと思います。



4. 幹事報告 ～武藤 幹事

- ・3月のロータリーレート～1ドル：150円です。
- ・先ほどの理事会で決まったことを報告いたします。次回3/12(水)の例会プログラムは、ゲスト卓話で、地域おこし協力隊の鈴木 美華 さん、3/26(水)もゲスト卓話で佐藤 町議 の予定です。
- ・「シャリ・デ・ショクドウ」が3/8(土)に斜里町老人福祉センターで行われます。ロータリーで食材として、ホタテとお米を提供して「ホタテごはん」をつくることになっております。ロータリーが食材を提供した趣旨については、4月に報告されるそうです。

5. 委員会、その他の報告 ～森田 会長

- ・樽見 次年度幹事～次年度関係のお知らせです。

「クラブリーダーシップラーニングセミナー」(旧 PETS) が 4/13 (日) に釧路観光国際交流センターで開催されます。登録料 (10,000 円) はクラブが負担します。それ以外は個人負担となります。理事、役員、委員長は出席義務ですのでよろしくお願いいたします。詳細については、後日メールにてお知らせいたします。

6. 本日のプログラム ～森田 会長

◆ゲスト卓話

◆藤田 (典) 出席・プログラム委員長～本日は、ゲスト卓話ということで、斜里中学校 坂田 直繁 校長先生 にお出でいただきました。いま、少子化や先生不足の問題などが新聞等に報じられておりますが、学校教育の苦労話や斜里の教育についてお話しただけると思っていますので、よろしくお願いいたします。

◆坂田 校長先生 にパワーポイントで解説していただきました◆



自己紹介

昭和62年4月 紋別市立湖見中学校を振り出しに教員生活スタート
上湧別町立上湧別中学校(10年) 遠軽町立遠軽中学校(5年)の後
教頭
平成17年 として丸瀬布町立丸瀬布中学校に赴任するも合併のため6ヶ月で遠軽町に逆戻り(3年)
網走市立第四中学校(2年) 美幌町立美幌中学校(4年) 斜里町立斜里中学校(4年)
校長
平成30年 遠軽町立安国中学校(3年) 紋別市立紋別中学校(2年) 斜里町立斜里中学校(現在に至る)

今日のメニュー

- 1 学校の現状(取り巻く状況)
・少子化・働き方改革・部活動
- 2 これまでの実践
- 3 今後への期待

◆斜里が危ない!!

- ・人口減少(少子化)
 - ・教員不足(斜里ブロックへの希望)
 - ・部活動地域移行は
地域での受け皿が...
(指導は出来ても責任が持てない=協力できない)
- ⇒今まで出来たのに・・・なぜ?の声 **大**

斜里中学校の概要

学年	開校	生徒数
昭和22年	5月 1日	斜里小学校を借り、斜里中学校創立 226名
昭和27年	12月 1日	斜里小学校から現在地に移転 432名
昭和32年	6月 2日	開校10周年記念式典 496名
昭和43年	1月 20日	新校舎・体育館落成、開校20周年 898名
昭和53年	1月	新校舎落成 723名
昭和62年		開校40周年 692名
平成14年		386名
令和 6年		244名

部活動の意義とは?

昔(親より年齢が高い世代)

- ・礼儀を身につける
- ・人間関係を構築
- ・愛校心を育てる etc...

今(国の方針)

- ・持続可能な地域が住民が子どもに関与
- ・生涯スポーツとしての側面
- ・多様なスポーツに触れる
- ・スポーツを楽しむ(勝ち負け無関係)

※ 大人の考えを根本的にリセットする必要がある!

経営の基盤

- 1 「当たり前の事が当たり前」にできる生徒・職員」の育
『凡事徹底』の職員・保護者・地域住民への浸透
⇒ 職員の経営参画意識を高めるためには...
個々の意見を大切に、できる事は即実践
「スピード感」を持った対応
- 2 コアチームを組織し、「自分事」として考える風土

【今後に向けて】

- 1 教職員の意識改革< 保護者・地域住民の意識改革
コアチームによる提案の継続(『自分事として』)
・管理職からの思い切った提案
- 2 生徒と向き合う時間の確保 **教員の本務は教科指導**
※学校・家庭・地域の連携を図り、「斜里町に住む児童生徒に、最適な学習(活動)環境」を提供することが目的。
...しかし...理解には時間と根気が必要。特別が許されない時代
- 3 姉妹町である竹富町との学校交流

7. ニコニコ B O X ～遠藤 親睦活

- ・本人誕生祝～中島 会員

8. 出席報告 ～藤田(典) 出席・プログラム委員長

- 本日出席～28 名中 (出席免除会員 1 名含む) 15 名出席 (出席率 : 55.56%)

☆幹事より次回例会の案内

- ・次回は 3/12 (水) 第 2978 会例会～ゲスト卓話 地域おこし協力隊 鈴木 美華 さん



2024-2025 国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

斜里 RC 会長のテーマ

奉仕は人の為ならず